

フェリス女学院

2007 年度事業計画書（概要）

フェリス女学院は、福音主義キリスト教信仰に基づき教育事業を行うことを学校法人の基本法ともいうべき「寄附行為」第3条において、教育理念として明記しています。

これまで、学院が130余年という長い歴史を守ってこられたのは、この、キリスト教信仰に基づく教育が多くの人と社会に理解され共感を得てきたことの証といえるでしょう。これからも学院は、これがあるからこそ学院が存在する、大事なものを大胆に守り続けて行かなければなりません。

2007年度は、学院の将来を確かなものとするための事業、グランドデザイン策定にむけた取組みの2年目となります。

学院の使命を今一度、見つめなおし、これから先の学院像を具体的に提示できる作業に入ります。

また、2006年度に策定した経営改善計画の中長期的目標達成による学院財政の健全化を目指し、さらに推進する年度ともいえます。

そして、2008年度導入にむけた新給与体系への移行に関する諸検討もいよいよ本格化します。

このような学院経営の計画が進められることに連動して、大学、中学校・高等学校は、それぞれの使命をグランドデザイン策定の動きの中から見つめなおし、学生生徒への教育のあり方を模索しつつ、今の時代・社会に求められるフェリス教育の実践を行ってまいります。

1 制度・政策に関する事項 経営・運営に関する事項

経営改善計画に則った取組み

学院グランドデザイン構想と建物施設関係の将来計画策定にむけての取組み

人件費依存率70%以内、人件費総枠27億円抑制にむけた方向性への取組み

納付金の改定

【大学】(2007年度入学者から全学部共通：編入学者を除く)

入学金 旧 38万円 新 30万円 に改定

施設設備費 4年間総額均等割りの徴収方法に変更することとあわせて8万円を増額

【高等学校】

外部入学者施設設備費 旧 23.4万円 新 10万円 に改定

その他

【大学部門】

- 大学院 人文科学研究科コミュニケーション学専攻設置にむけた具体的検討
- 学校教育法及び大学設置基準改正に伴う変更 (2007年4月1日施行)

○ 国際交流学部国際交流学科入学定員及び編入学定員の変更(2007年4月1日施行)

入学定員 旧 180名 新 185名

3年次編入学定員 旧 25名 新 15名

○ 大学院国際交流研究科における長期履修学生制度の導入(2007年4月1日施行)

【中学校・高等学校部門】

○ 校舎建替第2期工事着手にむけての検討

【本部事務局】

○ グランドデザインに連動した諸施策検討

○ 内部監査機能の強化

○ 学内における情報共有化にむけた整備

2 財務に関する事項 「経営改善計画」に則り、以下のとおりとする。

経費削減目標と総額経費枠の設定

2010年度までの総額1.5億円削減にむけ、06年度の総額1億円の経費削減に続き、06年度予算比1,000万円減を目標とし、経常経費の支出抑制を重点課題とする。

07年度第2号基本金組入れ計画

【大学部門】 大学キャンパス施設設備拡充整備資金計画 1億円組入れ

【中学校・高等学校部門】校舎建替第2期工事建築資金計画 5,000万円組入れ

資金運用による金融資産の蓄積推進

07年度減価償却引当特定資産の繰入れ 7,000万円繰入れ

3 施設設備に関する事項

学院グランドデザイン及び建物施設将来計画に則った当該年度修繕案件

学院の既存建物施設に関する中長期修繕計画を立案するため、2006年度より外部専門コンサルタント会社に調査を継続して依頼する。大型修繕工事等は、同調査レポートに基づき、2007年度は以下の修繕を予定する。

【大型修繕工事等】

山手6号館外装塗装及び雨漏り防止工事

緑園グラウンド管理棟屋上・内外装改修工事

中高2号館・同別館外壁(鉄平石)落下防止・防水工事

中高体育館壁面落下防止・防水工事

山手体育館雨漏り対策工事(同体育館耐震診断費用含む)

山手8号館(旧学生食堂)解体工事

学院グランドデザインに基づいた既存建物再利用計画の検討

危機管理の側面からセキュリティ面の充実と確保を重視した建物施設の整備

4 教育研究に関する事項

【大学部門】

本学は「For Others」の建学精神に基づいてリベラルアーツ型を基本としながらも大学院教育にも重点を置く大学であり、アカデミック・アドバイザー制度等一人ひとりの学生を大切にす少人数教育を行っている。語学教育を重視し、様々なカリキュラムの展開により国際人の育成に努めるなど、自立した女性を社会に送り出したいと願っている。

- 1 将来計画委員会
- 2 FD委員会の設置
- 3 認証評価への取組み
- 4 大学院新専攻設置等授業改革
- 5 緊急時への対応

2007年度の特徴G P・現代G P（継続）概要は次のとおり。

特色G P
読書運動プロジェクト「フェリスの1冊の本」(2008年度まで継続)
2007年度交付予定額約1,446万円
現代G P
地球温暖化に向けた環境教育拠点の形成(2007年度が最終年度)
2007年度交付予定額約1,000万円
若い女性の視点からの音楽コンテンツ創造(2008年度まで継続)
2007年度交付予定額約1,028万円

その他の重点事業 体験型学習プログラム 学生生活支援関連事業

【中学校・高等学校部門】

本校の長期的課題と目標は、これまで培ってきたキリスト教信仰に基づく教育を、中高6年間を通して高めていくことである。

本校は、中等教育レベルにおける「教養主義」を標榜する。多様な領域を深く学ぶことの意義は、卒業生のその後の社会での活躍をみれば明らかである。一人ひとりに与えられたタレントを育成しつつ、人格形成にもつとめている。心身ともに成長する十代という時期にふさわしい将来への「種まき」としての教育である。これは、本校において130余年にわたり継承されてきた。このような目標にむけて、07年度学事関連行事を運営実施する。

5 その他の事項

募金活動の推進（維持協力会 教育充実資金）

2007年度キリスト教学校教育同盟総会について 2007年6月 会場 緑園校地予定

以上